

みずほCustomer Desk Report 2021/10/07号 (As of 2021/10/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.63
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.49	1.1595	129.36	1.3626	0.7287
SYD-NY High	111.79	1.1600	129.50	1.3630	0.7291
SYD-NY Low	111.20	1.1529	128.36	1.3545	0.7226
NY 5:00 PM	111.43	1.1557	128.80	1.3580	0.7273
NY DOW	34,416.99	102.32	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	14,501.91	68.08	日本10年債	0.0800	3.00bp
S&P	4,363.55	17.83	米国2年債	0.2965	1.19bp
日経平均	27,528.87	▲ 293.25	米国5年債	0.9870	1.14bp
TOPIX	1,941.91	▲ 5.84	米国10年債	1.5267	0.00bp
シカゴ日経先物	27,765.00	▲ 450.00	独10年債	-0.1830	0.65bp
ロンドンFT	6,995.87	▲ 81.23	英10年債	1.0690	▲ 1.45bp
DAX	14,973.33	▲ 221.16	豪10年債	1.5770	6.20bp
ハンセン指数	23,966.49	▲ 137.66	USDJPY 1M Vol	5.98	0.02%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.95	0.04%
NY金	1,761.80	0.90	USDJPY 6M Vol	6.15	0.05%
WTI	77.43	▲ 1.50	USDJPY 1M 25RR	-0.29	Yen Call Over
CRB指数	232.227	▲ 3.57	EURJPY 3M Vol	6.21	0.19%
ドルインデックス	94.27	0.29	EURJPY 6M Vol	6.48	0.22%

【昨日の指標等】

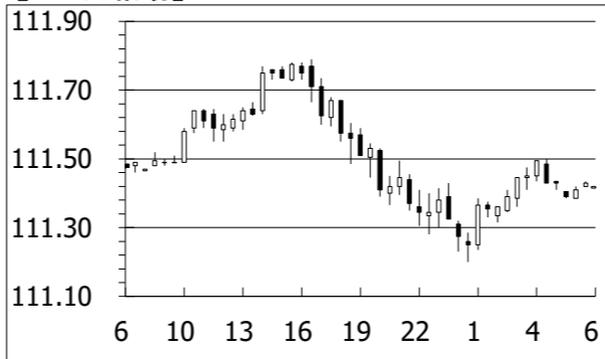
Date	Time	Event	結果	予想
10月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	8月 -7.7%	-2.2%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	0.8%
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 568k	430k

【本日の予定】

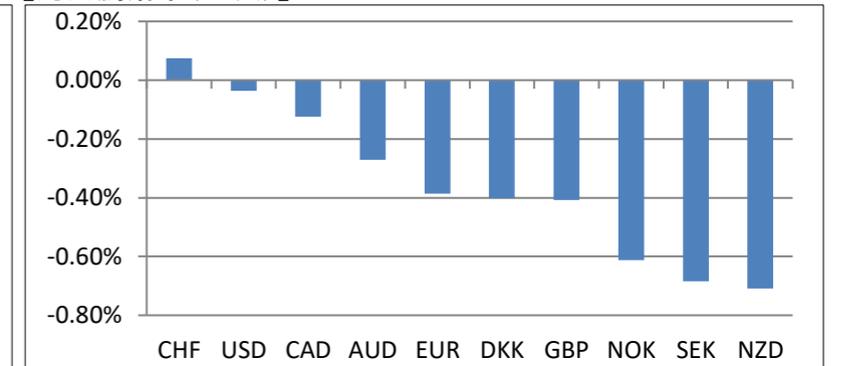
Date	Time	Event	予想	前回
10月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 -0.5%/5.0%	1.0%/5.7%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	2-Oct 348k	362k
10月8日	00:45	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は111.49レベルでオープン。時間外取引の米10年債利回りが上昇する中、ドル円も終日堅調推移。日経平均株価が大幅に下落する場面も見られたもののドル円への影響は限定的。結局、111.75レベルで海外時間に渡った。また本日はNZ準備銀行の金融政策決定会合があり、政策金利が25bp引き上げられたもののドル円への影響は限定的であった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.75レベルでオープン。米10年債利回りが下落した事や、欧州株が軟調に推移した事でリスク回避に安全通貨とされる円が買われドル円は値を下げた。111.36レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は111円台半ばでスタートし、米10年債利回りが1.56%台をつける動きを眺めながら一時111.79まで上昇。その後、米金利の上昇一服や株式の軟調推移が重しとなり111.35まで反落後111.36レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ111.20まで下押し。米9月ADP雇用統計発表で民間雇用者が56.8万人増えたことが伝わるも、前回は下方修正されており、市場の反応は限定的。その後、一時400ドル超下落していたダウ平均が下げ幅を縮小すると円売り優勢の展開となり、じわじわと買い戻される。午後は明確なヘッドラインは見当たらないものの、原油価格低下によりインフレ懸念が一時後退したことやマコネル氏が民主党に債務上限問題を巡り打開策を提案したことが伝わる中、リスクセンチメントの改善が続き、円売り優勢な展開が続く。終盤にかけて米株主要3指数がプラスに転じ、ドル円も高値111.50をつけ、結局、111.43レベルでクロス。海外市場のユーロドルは1.1600付近でスタートし、米金利上昇を意識したドル買いと、ドイツの8月製造業受注やユーロ圏の9月小売売上が予想下振れを嫌気したユーロ売りが進み、1.1529まで売られ、1.1538レベルでNYオープン。朝方は1.1533まで下落するも、株式市場の下げ幅縮小がユーロ円の買いをサポートし、ユーロドルも下げ渋る。午後もしわじわと買い戻される展開が続き、1.1559をつけた後、1.1557レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.20-112.00	1.1530-1.1600	128.40-129.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は111円台半ばを中心の値動き。米長期金利が4か月ぶりの高値まで上昇すると、ドル円も111.75付近まで上昇するも、米金利が上昇一服すると111円台前半まで下落。ただし、その後米株主要3指数がプラスに転じると111円台半ばに値を戻し、同水準での値動きとなっている。本日のドル/円も底堅い展開を予想。米長期金利の上昇が続き、日米金利差の拡大を見込んだ円売り、ドル買いが引き続き優勢か。エネルギー相場の急伸も一服した様子だが、まだ予断を許さない状況は続き、引き続きインフレ懸念から欧米金利上昇には注意が必要。一方で週末に米雇用統計を控えており、112円付近では上値も限定的と思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。